

普及活動情勢報告（令和元年 9 月分）

中央東農業振興センター農業改良普及課

ショウガの栽培技術向上に向けて ～JA 高知県香美地区生姜部会栽培講習会～



9 月 6 日、JA 高知県香美地区生姜部会栽培講習会が、香南市香我美町で開催され、生産者 51 名の参加がありました。

会議では、JA から実証試験の途中経過、農薬メーカーから新規薬剤の紹介他、野菜価格安定事業及び収入保険制度の説明等がありました。

農業改良普及課からは、今年の気象及び生育概況、農薬、根茎腐敗病対策、新型ショウガハーベスタの特徴等について情報提供を行いました。農家は、新型ショウガハーベスタの価格や作業効率について質問するなど、高い関心を示していました。

今後も、JA と連携し、農家の栽培技術向上に向けて支援を行っていきます。

「山北みかん」の生産維持に向けて ～露地みかん部会現地研修会の開催～



JA 高知県香美地区露地みかん部会は 9 月 3 日から 11 日にかけて、香南市内 4 支部で現地研修会を開催し、生産者 58 名が参加しました。

JA 営農指導員からはほ場での摘果や肥培管理の指導の後、農業改良普及課から、定期果実分析の結果、親元研修制度、他地区でのスマート農業の取組について紹介しました。

生産者は、「近くに親元研修の対象になりそうな人がいる」「ドローン防除の効果はどうか」等、それぞれの取組について高い関心を示していました。

農業改良普及課では、「山北みかん」の生産維持のため、担い手育成から省力化技術の普及まで総合的な支援を行っていきます。

はちきん農業大学（地域講座）を開催 ～農薬の安全使用について学びました～



9 月 5 日、当センターで、はちきん農業大学「農薬基礎講座」を開催し、女性農業者や農家研修中の研修生など 12 名が参加しました。

講師の農業技術センター発生予察担当チーフから、農薬の定義や安全性検査、薬剤の特性、使用基準等の説明を受け、基礎的な知識を学びました。その後の質疑では、受講者から農薬の混用や軟弱野菜の病害虫対策等の質問があり、それぞれの対処法等についても学びました。

農業改良普及課は、今後も「はちきん農業大学」で各種講座を開催するなど、女性農業者を支援をしていきます

中山間地域の有望品目と集落営農の事例を学ぶ ～令和元年度香美市集落営農塾～



9月2日、関係機関を含めて30名が参加し、土佐町のシキミ生産者と伊勢川営農組合を視察する、香美市集落営農塾を開催しました。

中山間地域の補完作物として有望なシキミの栽培方法や集落ぐるみで老若男女が協力して農地を守り続けている取り組み等に対し、参加者から積極的な質問が出され、関心の高さがうかがわれました。

今後は、アンケート結果で組織化の意向があった参加者を中心に関係機関と協力して面談等を行い、組織化の検討に向けて座談会の開催へつなげていきます。

生産者の所得向上のための活動団体「匠の会」を設立！！



任意の生産者活動団体「匠の会」は、9月9日に南国市内で、生産者14名、関係者19名が参加し設立総会を開催しました。「匠の会」は、生産者の所得向上のため、栽培技術や環境制御技術、労務管理、生産資材などの情報を勉強会や現地検討会により共有し、総合的な経営改善を図ることを目指し、従来の地域や団体の枠を超えて活動を行っていきます。

農業改良普及課は、JAと協力して、生産者の思いに沿うよう、設立のための支援を行いました。

農業改良普及課は、「匠の会」の生産者の所得向上を目指した活動を継続して支援していきます。

オオバの害虫防除法の確立に向けて！ ～微生物農薬を活用しよう～



オオバは収穫期間中に使用できる農薬が少なく、害虫の防除に苦慮しています。農業改良普及課では、部会や資材メーカー、農業技術センターと連携し、害虫の防除試験に取り組んでいます。

害虫被害の多い夏作に微生物資材を活用するため、南国市、香美市の生産者の協力を得て、微生物資材と殺虫剤の混用試験を実施しました。その結果、今回試験した6剤とも薬害は認められず、高温期でも使用できることが明らかになりました。

農業改良普及課では、害虫防除法の確立に向け現地試験や部会活動への支援を継続していきます。